

副専攻プログラム説明書

開設学部(学科)名〔教育学部(第三類)〕

プログラムの名称	(和文) 英語文化教育学副専攻プログラム
	(英文) Secondary School English Language Education
<p>1. 概要</p> <p>本プログラムは、英語文化教育学プログラムの担当教員が提供するもので、英語を学び、使い、そして教えることを目指し、英語教育学の原理・方法・内容の全般にわたり、その基礎と基本を学習する。そのためには、学習に対する意欲と主体性と実行力、人間・社会・文化と言語とその関わりへの幅広い興味と関心、英語運用力の育成等が前提となる。</p>	
<p>2. 到達目標</p> <p>本プログラムでは、中等教育(中学校・高等学校)における教員として必要な能力のうち、特に、以下の英語教育に関わる目標を達成するための基礎を育成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 英語によるコミュニケーション能力を身につける。 2. 英語教育を、原理・方法・内容等の面から探求し、国際語としての英語や英語文化に関する広く深い認識を基盤として、教育内容や教材の分析・開発を行い、英語授業を、実践的知見を踏まえて、効果的に遂行する。 	
<p>3. 登録時期</p> <p>副専攻プログラムの開始時期は、原則として2年次である。履修開始前の登録(事前登録)のみとする。</p>	
<p>4. 登録要件</p> <p>既修得要件は特に設定しない。</p>	
<p>5. 受入上限数</p> <p>5名</p>	
<p>6. 授業科目</p> <p>※授業科目は、別紙の履修表を参照すること。 ※授業内容は、各年度に公開されるシラバスを参照すること。</p>	
<p>7. 修了要件</p> <p>「6. 授業科目」に示す授業科目のうち、25単位を修得すること。</p>	
<p>8. 責任体制</p> <p>英語文化教育学プログラム教員会委員長が、本副専攻プログラムの総括責任者を兼ねるものとする。担当者は、教員会の全員である。</p>	
<p>9. 既修得単位等の認定単位数等</p> <p>(1) 他大学等における既修得単位等の認定単位数等</p> <p>(1)(2)を合わせて12単位まで認める。</p> <p>(2) 広島大学における既修得単位(科目等履修生として修得した単位を含む。)の認定単位数等</p> <p>(1)(2)を合わせて12単位まで認める。</p>	

【副専攻プログラム履修に関する注意事項】

- 主専攻プログラムの授業時間割の関係で、登録した副専攻プログラムの授業科目履修が制限されることがある。
- 副専攻プログラムで開設されている授業科目も、本学共通の平均評価点(GPA)の計算対象に含まれる。

別表

英語文化教育学副専攻プログラム 履修表

科目区分	授業科目	開設単位数	履修セメスター						要修得単位数	開設学部	備考
			3セメ	4セメ	5セメ	6セメ	7セメ	8セメ			
専門教育科目	専門基礎科目	英語教育学概論 I	2	○					25	教育学部	
		英語教育学概論II	2		○						
		英語学概説 I	2		○						
		英語学概説II	2			○					
		英語文学概説	2	○							主専攻プログラムでは1セメ
		英語コミュニケーション演習 I	2	○							主専攻プログラムでは1セメ
		コミュニケーションライティング I	2			○					
		英語教育のための異文化理解	2				○				
	専門科目	英語教育方法論	2			○					
		英語教材構成論	2		○						
		英語ボキャブラリー演習	2	○							
		英語発音演習	2	○							
		英語教師のための音声学	2		○						主専攻プログラムでは2セメ
		英語史	2				○				
		英語教育文法	2				○				
		英語教育と英語文学	2			○					
合計								25			

〈履修上の注意〉

- 履修セメスターの○印は標準履修セメスター